

## 新しい生活様式での遊び方の提案

(担当：北新宿第一児童館)

### 事業の背景・目的

目的：感染対策として密を防ぎながら子ども達の居場所作りを提案していく。  
学童児と一般児が同フロアに混在することを避け、利用曜日のすみ分けを行っている。  
一般児は土日祝日に来館し、入室人数制限を設けながら、自由遊びを主として遊びの提供を行う。

事業の背景として：年間行事の中から以下の事業を通常遊びに変換

- ・GET スポーツ！（毎月1回開催）
- ・キタイチクラフト（毎月1回開催）

### 事業の概要

対象：小学生以上

実施場所：図書工作室、音楽室、遊戯室

実施頻度：土日祝日 第一部・・・9:00～12:00  
消毒・換気 12:00～13:30  
第二部・・・13:30～17:00  
消毒・換気 17:00～18:00（～閉館）

実施方法：入室の際に個々の検温、体調確認、手消毒、マスク着用をルール化

図書工作室（8名） 音楽室（8名） 遊戯室（10名） 屋上（10名）計36名まで  
各部屋、学年別に分散し、どの部屋でも同じ内容の遊びが出来る。

遊戯室は運動系が出来る場所とし空室にしているが、来館者数が多くなった場合は他の部屋  
同様に座って遊べる内容で過ごす場となる。

遊べる内容：カードゲーム、ボードゲーム、個別で遊べる玩具を用意し、ソーシャルディスタ  
ンスを意識し、静かに落ち着いて過ごせる場所の提供を行っている。

個包装にセットした工作遊びの提供

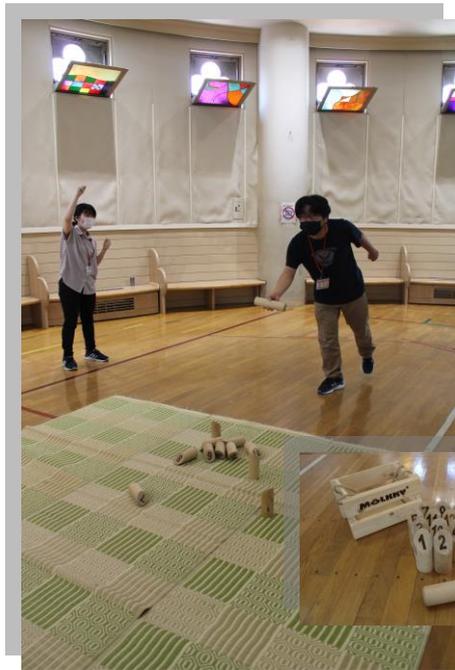
・館内で作成することも可能だが、工作キットを家に持ち帰り仕上げることが出来るように材料  
と説明書を封入し、時間や場所を選ばず自由に工作が出来るようにしている。

個別少数でも体験できるスポーツを提案

・ストラックアウト、モルック、ポッチャ、コーンホール、他。子ども達の遊びの選択肢を増や  
す目的として次世代スポーツを提案している。激しく動く必要がなく、マスクを着用したまま  
出来る内容を考慮している。

避難訓練は人数を分散して出来る内容に特化し、テーマに合わせた避難内容を図や絵にしたポ  
スターを掲示し、来館するごとに目にしたり読むことで知識や情報を周知している。小学生だけ  
でなく、乳幼児や、中高生にも目にとまりやすいようにクイズやフローチャート、アンケート等  
楽しみながら出来る内容を提供している。

## 工夫点・留意点



## 事業の効果

- ・感染対策として利用人数や遊び方の制限がある一方で、慣れ親しんだ遊び以外に、少数でも出来ることに特化した新たなスポーツを提案することで、遊びながら感染対策の意識を高めることに繋がったと感じる。
- ・通常の事ができなくなってしまった事よりも、感染対策を踏まえながら、新たに出来ることを提案することで遊びの選択肢が増え、マンネリ化を防ぐことができた。
- ・避難訓練においては、集まり館外にできることはあまりできなかったが、避難の情報を図式にして周知したところ、普段の参加人数よりも多くの子ども達が知識を目にすることができたと感じる。

## 課題・今後の展開

- ・現時点では、同フロアに学童クラブと一般児童との融合は人数制限も含め難しいと感じることもあるが、一般児が利用できる土日祝日に、季節に合わせた年間行事を再開することで、子ども達の居場所としての遊びの充実を図りたいと考える。
- 集団で密にならないように、実施回数を分けたり、長い日程期間を設定をし、参加人数を調節したり、たくさん子ども達が、少しでも多く児童館に目的を持って遊びに来られるような遊びの場の提供を行っていきたいと考える。